

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000046	事業の開始年月日	平成18年12月5日
		指定年月日	平成18年12月5日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家 横浜緑園都市		
所在地	(245-0051) 神奈川県横浜市戸塚区名瀬町 3 0 3 9		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員 計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成23年11月15日	評価結果 市町村受理日	平成24年2月9日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1491000046&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の重度化も進んでいますが、入居者様が笑顔で生活出来るようにスタッフ一同頑張っています。ホームでのカラオケ大会・入居者様とのおやつ作り・全員で外出しての食事等・・・又、環境にも恵まれ緑の中を毎日散歩していただいています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年12月20日	評価機関 評価決定日	平成24年1月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは、いずみ野線「緑園都市駅」から徒歩で9分程、または、神奈中バス停「名瀬」から1分の静かな住宅地にあり、開設5年目を迎えました。周囲は隣接する公園やゴルフ場の緑豊かな木々に囲まれています。運営法人は関東地方を中心にグループホームをはじめ、介護や福祉に多様な事業を展開し、利用者本位のサービス提供に努めています。

< 優れている点 >

運営法人は職員育成に力を注いでいます。本部で様々な研修を実施するとともに、職場に戻り、他の職員に伝達するための伝達研修会議を必ず設け、研修内容が参加していない職員にも伝わるようにしています。また、多様なマニュアル類を状況に応じて素早く見直し、各ホームで職員が活用できるようにしてあります。当ホームではフロア日誌に別紙を設け、当日の利用者状況をひと目での確認に引き継ぎ出来るようにしています。

< 工夫している点 >

利用者の家族がホームを訪問しやすいように様々な工夫をしています。入居期間が長くなるにつれて本人、家族ともに状況に変化が生じ、面会や家族会への参加が少なくなりがちです。家族会の日に季節の行事などを実施して、当日は利用者と職員と一緒にケ・キやカレ - を手作りし、家族と一緒に昼食を摂り、その後、カラオケ大会などをして楽しく過ごしています。開設して5年になりますが、家族会には半数近い家族の訪問があります。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜緑園都市
ユニット名	1U

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当ホームでは「笑顔」「ハート」をキーワードに管理者・職員共に声を掛け合いながら実践している	法人の理念「必要な人に、必要なサービスの提供を」の精神を日常のサービスにつなげるよう、「地域とともに、明るい笑顔」という簡潔な理念を職員一同で作成し、利用者や家族に対して、また職員自身もいつも笑顔で一日を楽しく、過ごそうと努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の行事（お祭り・餅つき大会）に参加したり子供会がホームを訪問され、交流を図っています	町内会の一員として自治会、正月の餅つき、夏の盆踊り、近隣の学園祭や防火訓練などに参加し、顔なじみになっています。ハロウインの時には子供会の小学生40人ほども訪問したり、ホームで「認知症について」の研修会を一般の市民も交え実施しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームに来ていただき、交流する場を作るように努めています		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの活動状況・現状を報告し話し合いの中での意見をケアの向上に活用するようにしています	自治会長、地域包括支援センターの職員、家族など多くの方が参加し、年6回開催されています。状況報告や双方の意見交換により、職員1人の夜間想定避難訓練や送迎バスを提供してくれる外食など地域の協力によりサービスの向上が実現しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	戸塚区主催のグループホーム連絡会に出席し、交流や情報交換を行っています	区の生活保護の担当者を通じて状況報告、ケアサービスの取組みや問題解決、空き状況などの共有化を図っています。区主催のグループホーム連絡会に参加し、事例研修や区の職員との意見交換、情報の提供など相互に関係づくりに努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	原則を理解したうえで、安全対策上「玄関」は施錠していますが、外出は職員同行にてご希望の時に掛けられています	毎月、虐待の防止委員会を開催し、身体拘束の防止について、職員一体となり、取り組んでいます。踊り場や玄関に出るとセンサーが感知したり、夜間には利用者の健康状況により、布団やスリッパに小さな鈴をつけ、身体拘束をしない工夫をしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人として研修会を行っています。又ホーム内においても身体拘束同様、注意を払い、防止に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人として研修会を行っています。現在ホームにおいて必要とされる方はいません		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は、ご理解・納得していただけるように説明をしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様がホームに来られた時には管理者や職員に要望や意見を言えるよう努めています。また、苦情相談窓口は重要事項説明にてお伝えしています。本社ホームページにメールが届く場合もあり反映しています	楽しい行事などと一緒に家族会を年6回開催し、意見・要望など把握しています。新しい行事の時には随時、家族アンケートで確認してから実施しています。毎月、利用者別に「一言通信」を発行し、日常の状況や行事に参加された時の様子を報告しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議、又は常時職員と個別に意見を聞く場を設けるようにしています	職員全体会議やフロアーごとのスタッフ会議、カンファレンス会議などにより、意思の疎通を図っています。職員の自己申告による人事考課制度があり、意見など反映しています。社内や外部研修など参加した時は伝達研修会議を開き、共有しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価・管理者評価・ミーティング・個別面談等により多くの声を聞く努力をしています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修制度や自治体の研修等の情報を提供し、スキルアップを奨励しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市・及び戸塚区主催のグループホーム連絡会に出席し情報交換を行っています。また、ホーム長研修・連絡会等で学習を行っています		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者の困っていること、不安なこと、要望などは、職員が常にお話の中で汲み取り、情報を共有し安心していただくように、努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様とお話の中で不安な事、要望などを汲み取り傾聴し、関係作りに努めています		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と御家族様の要望・状況をお聞きしケアプランを作成し介護支援に努めています		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として、園芸はゴーヤの育て方やチューリップの球根の植え方、洗濯物は、シワの伸ばし方を若い職員に教えてくださいます		
19		○ 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた際には、直接近況をお話しております。また、月に1度の一言通信でも、ホームでの様子をお伝えしています		
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様同士や職員との馴染みが、尊重されるよう支援しています	入居時に利用者の状況を丁寧に把握し、家族の協力を得ながら希望に添えるように努めています。また、入居後に出来た友達や馴染みの職員などとの関係が豊かになるように座席順や、一緒の楽しみ事などの工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様が一緒に楽しめるように、皆さんがご存知の民謡や演歌などで楽しんでいただき、支えあえるように支援しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で退去された御家族様には、その後の様子をお伺いしています		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向をご本人様から又、日常生活の中から把握し、スタッフ会議の中で検討しています	日常の中で職員全員が利用者一人ひとりの思いを汲み取れるようにと、フロア日誌に特記事項用の別紙を設けるなどの工夫をしています。また、家族へのお便り「一言通信」は職員が交代で各利用者の家族へ状況報告をするようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に際し、生活歴・環境・これまでのサービス利用の経過等、ご家族・ご本人から伺っています。またその後もいろいろな会話の中から汲み取っています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活記録や申し送り・連絡ノートにより職員が情報を共有し、把握に努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を、ご本人・家族からの要望・意見を伺ったうえで、作成しています	利用者の希望は日常の中で把握し、家族の要望は来訪時や電話、手紙などで確認します。これを「ご意向記入表」に記入し介護計画を作成しています。モニタリングは各職員が行い利用者の状況を把握するようにしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活記録や申し送り・連絡ノートにより職員が情報を共有し、把握に努めています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々発生するニーズに対応する為、往診医だけでなく、シニアセラピーや訪問マッサージ等柔軟に支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	緑の中を散歩されながら、近隣の学園祭に行かれたり、子供会の訪問で歌を唄っていただき楽しい時を過ごされるよう支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人と御家族様の要望・状況をお聞きしケアプランを作成し介護支援に努めています	かかりつけ医は本人、家族の希望で決定しています。通院付き添いは基本的に家族ですが状況に応じて職員が付き添います。訪問内科医、歯科医の往診月2回、訪問看護師、歯科衛生士の訪問が月4回あり、医療往診記録で情報の共有をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に報告・相談する事で適切な受診を受けられるよう支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院があり、入院時には利用者様の情報交換を速やかに行っています。又退院時には、往診医・訪問看護師と情報交換を行っています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの方針はありますが、現在対象者はいらっしゃいません。今後重度化になってくると考えられます。ご家族のご要望があれば、往診医・看護師・御家族様と話し合いを行い支援に取り組んでいきます	「重度化した場合の対応に係わる指針」があり、重度化や看取りに関する考え方が示され、入居時に説明しています。対象者がいなかったため、看取りなどの取り組みはしていませんが要望があれば取り組む方針です。	現在までに、対象となる方がいなかったため、具体的な取り組みがされていません。今後に備え、職員全体での話し合いや看取りに関する研修など、具体的な取り組みを始められることも期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議の時・特に夜勤者には訓練・指導しています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練にて、消防署の指導を受けています。地域との協力体制はできています	年2回、避難訓練を実施しています。7月には職員1人勤務の夜間の火事発生を想定し、ベランダまで避難するのに10分程かかりました。1月には近隣の住民に参加を呼びかける予定です。災害時用の水、紙オムツなどの備蓄を始めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であり、人生経験をお持ちである事を尊重し対応しております	日常の中で職員全員が利用者一人ひとりの思いを汲み取れるようにと、フロア日誌に特記事項用の別紙を設けるなどの工夫をしています。また、家族へのお便り「一言通信」は職員が交代で各利用者の状況報告をするようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	タイミングを捉え少ない時間でも、ご本人の思いを出来る限り聞く回数を増やすなど、自己決定出来るよう努めております			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の一人ひとりの状況に合わせ「思い」を優先しています。散歩などのように入居者様一人ひとりのペースに合わせ希望に添って支援しています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お好きな服を着ていただくように支援しています。訪問美容は2ヶ月に1～2回で、カット・パーマ・ヘアカラー御自分で選んでいただけます			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は専門の職員が行い、利用者様には盛り付け・配膳や食器洗い・収納など職員と一緒にストレスを感じず、楽しみながらしていただけるように支援しています	利用者に応じてミキサ・、キザミ、一口大、普通食の4種の食事を提供しています。元気な利用者はエプロンをかけて楽しそうに配膳や食器洗いなどしています。家族会や行事の時は利用者、職員と一緒にカレー・など手作りし家族と一緒に食べています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を記録し栄養バランスを把握したり、体調の変化等があった際のデータとして主治医に報告し、指示を頂いています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを介助・声掛け・見守りでしえんしています。また毎週1回の歯科衛生士・月2回の歯科医による口腔ケアをおこなっています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛け・誘導を行い自立に向け支援しております	入居期間の長期化に伴い、身体機能が低下した利用者についても昼間は出来るだけトイレに誘導しています。オムツ使用の方や便失禁した際はレンジで濡れタオルを温めて清拭し、気持ちよく、清潔に過ごせるように配慮しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて一人ひとりの排泄パターンを把握しています。また水分補給や体操・運動を行い排便につながるように努めています。又、訪問看護師に腸の動きを診て頂いています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日ご本人の希望時間（日中・夕食後）にはいれるように配慮しております。また、拒否される方にも週2回以上入っていただけるように、気長に声掛けをし、入浴していただけるように支援しています	一階の浴室には椅子式のリフトがあり、安全に安心して入浴できるようになっています。基本は週2日以上の入浴ですが希望があれば毎日入浴や同性介助、入浴時間の選択など可能な限り、利用者の希望に添えるよう努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に安眠していただけるよう昼間はレクを取り入れ楽しんでいただけるようにしています。いつでも居室にて休息できるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様が使用されている薬について職員、説明が出来るように努めています。服薬後に症状の変化あった時には主治医に報告し、指示をいただいています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や得意なことを把握し、支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのご希望にそって散歩等に出掛けています。また、ご家族様の協力で買い物・外食に出掛けられる利用者さまもいます。	車椅子やシルバ－カ－使用の利用者が1 / 3 ほど入居している中での全員揃っての外出は厳しい状況ですが、送迎バス付きのレストランへ食事に出かけています。元気な利用者は希望を聴きながら近隣への散歩に出かけています。	ホ－ムは住宅地にあり、周囲には利用者が買い物や喫茶を楽しむ場所がありません。利用者の外出や通院など、必要な時にいつでもすぐに使える車が配置されることも期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族から「お金」はお預かりし、買い物に出掛けたときに希望の物がある時に、使うように支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人・御家族様の意向をお伺いし、支援しております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔であり、居心地がよく、季節感を感じて生活していただけるように配慮しています	リビングにはテーブルが3台、椅子が多めに置かれ、利用者が職員と一緒に食事をしたり、楽しそうに会話をしています。壁面は季節の装飾が飾られ、加湿器が乾燥しないように稼働しています。テレビの置き場も車椅子の通行に配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを離し座席をローテーションして居場所の工夫をしています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使って来られた物や、ご本人のおき入りで居心地のよい空間で過ごせるように支援しています	利用者は一人になりたい時に居室で過ごしています。入口の小窓は可愛い小布で覆い、中が見えないように配慮されています。居室は手洗い、和洋ダンス、ベッド、エアコンが備えつけられ、他に好みの家具や写真、飾り物などが置かれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の能力に応じて食器拭きや掃除など「出来る事」「わかる事」をしていただきながら「自立」した生活が送れるように支援しています		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜緑園都市
ユニット名	2U

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当ホームでは「笑顔」「ハート」をキーワードに管理者・職員共に声を掛け合いながら実践している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の行事（お祭り・餅つき大会）に参加したり子供会がホームを訪問され、交流を図っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームに来ていただき、交流する場を作るように努めています		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの活動状況・現状を報告し話し合いの中での意見をケアの向上に活用するようにしています		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	戸塚区主催のグループホーム連絡会に出席し、交流や情報交換を行っています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	原則を理解したうえで、安全対策上「玄関」は施錠していますが、外出は職員同行にてご希望の時に掛けられています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人として研修会を行っています。又ホーム内においても身体拘束同様、注意を払い、防止に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人として研修会を行っています。現在ホームにおいて必要とされる方はいません		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は、ご理解・納得していただけるように説明をしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様がホームに来られた時には管理者や職員に要望や意見を言えるよう努めています。また、苦情相談窓口は重要事項説明にてお伝えしています。本社ホームページにメールが届く場合もあり反映しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議、又は常時職員と個別に意見を聞く場を設けるようにしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価・管理者評価・ミーティング・個別面談等により多くの声を聞く努力をしています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修制度や自治体の研修等の情報を提供し、スキルアップを奨励しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市・及び戸塚区主催のグループホーム連絡会に出席し情報交換を行っています。また、ホーム長研修・連絡会等で学習を行っています		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者の困っていること、不安なこと、要望などは、職員が常にお話の中で汲み取り、情報を共有し安心していただくように、努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様とお話の中で不安な事、要望などを汲み取り傾聴し、関係作りに努めています		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と御家族様の要望・状況をお聞きしケアプランを作成し介護支援に努めています		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として、園芸はゴーヤの育て方やチューリップの球根の植え方、洗濯物は、シワの伸ばし方を若い職員に教えてくださいます		
19		○ 本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた際には、直接近況をお話しております。また、月に1度の一言通信でも、ホームでの様子をお伝えしています		
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様同士や職員との馴染みが、尊重されるよう支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様が一緒に楽しめるように、皆さんがご存知の民謡や演歌などで楽しんでいただき、支えあえるように支援しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で退去された御家族様には、その後の様子をお伺いしています		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向をご本人様から又、日常生活の中から把握し、スタッフ会議の中で検討しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に際し、生活歴・環境・これまでのサービス利用の経過等、ご家族・ご本人から伺っています。またその後もいろいろな会話の中から汲み取っています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活記録や申し送り・連絡ノートにより職員が情報を共有し、把握に努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を、ご本人・家族からの要望・意見を伺ったうえで、作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活記録や申し送り・連絡ノートにより職員が情報を共有し、把握に努めています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々発生するニーズに対応する為、往診医だけでなく、シニアセラピーや訪問マッサージ等柔軟に支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	緑の中を散歩されながら、近隣の学園祭に行かれたり、子供会の訪問で歌を唄っていただき楽しい時を過ごされるよう支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人と御家族様の要望・状況をお聞きしケアプランを作成し介護支援に努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に報告・相談する事で適切な受診を受けられるよう支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院があり、入院時には利用者様の情報交換を速やかに行っています。又退院時には、往診医・訪問看護師と情報交換を行っています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの方針はありますが、現在対象者はいらっしゃいません。今後重度化になってくると考えられます。ご家族のご要望があれば、往診医・看護師・御家族様と話し合いを行い支援に取り組んでいきます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議の時・特に夜勤者には訓練・指導しています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練にて、消防署の指導を受けています。地域との協力体制はできています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であり、人生経験をお持ちである事を尊重し対応しております			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	タイミングを捉え少ない時間でも、ご本人の思いを出来る限り聞く回数を増やすなど、自己決定出来るよう努めております			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の一人ひとりの状況に合わせ「思い」を優先しています。散歩などのように入居者様一人ひとりのペースに合わせ希望に添って支援しています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お好きな服を着ていただくように支援しています。訪問美容は2ヶ月に1～2回で、カット・パーマ・ヘアカラー御自分で選んでいただけます			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は専門の職員が行い、利用者様には盛り付け・配膳や食器洗い・収納など職員と一緒にストレスを感じず、楽しみながらしていただけるように支援しています			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を記録し栄養バランスを把握したり、体調の変化等があった際のデータとして主治医に報告し、指示を頂いています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを介助・声掛け・見守りでしゅんしています。また毎週1回の歯科衛生士・月2回の歯科医による口腔ケアをおこなっています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛け・誘導を行い自立に向け支援しております		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて一人ひとりの排泄パターンを把握しています。また水分補給や体操・運動を行い排便につながるように努めています。又、訪問看護師に腸の動きを診て頂いています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日ご本人の希望時間（日中・夕食後）にはいれるように配慮しております。また、拒否される方にも週2回以上入っていただけるように、気長に声掛けをし、入浴していただけるように支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に安眠していただけるよう昼間はレクを取り入れ楽しんでいただけるようにしています。いつでも居室にて休息できるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様が使用されている薬について職員、説明が出来るように努めています。服薬後に症状の変化あった時には主治医に報告し、指示をいただいています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や得意なことを把握し、支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのご希望にそって散歩等に出掛けています。また、ご家族様の協力で買い物・外食に出掛けられる利用者さまもいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族から「お金」はお預かりし、買い物に出掛けたときに希望の物がある時に、使うように支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人・御家族様の意向をお伺いし、支援しております		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔であり、居心地がよく、季節感を感じて生活していただけるように配慮しています		
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを離し座席をローテーションして居場所の工夫をしています		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使って来られた物や、ご本人のおき入りで居心地のよい空間で過ごせるように支援しています		
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の能力に応じて食器拭きや掃除など「出来る事」「わかる事」をしていただきながら「自立」した生活が送れるように支援しています		

(別紙4(2))

事業所名 グループホームみんなの家横浜緑園都市

目標達成計画

作成日：平成 24年 2月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りについて 現在実施していないので、今後職員が対応できるか	スタッフが見取りに対して前向きに取り組み、 医療と連携し、実施してゆく。	研修への参加・勉強会への実施	6ヶ月
2	49	外出用の車両がないので、外出レクが思うように出来ない	入居者様に施設内のレクだけでなく、外出し買い物・食事・デザートなど楽しんで頂きたい	地域の方と交流をしているので、花見などの行事に参加する 送迎バス完備のレストランにて外食レクを実施する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。